

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	「風水害対策計画」は完成しているが、実際の動きの確認がまだできていない。	防災訓練で職員全員が避難・誘導が行えるようにする。	平成30年12月に入り、水害における避難・誘導の図上訓練を実施、平成30年度内に実際の避難訓練を行う予定。	6ヶ月
2	16	入居前の事前情報があり、全スタッフが周知しているが、実際の生活の場においてそれ以上にどのような対応をしていくのかの検討がまだできていない。	実際に生活していただくことを考え、具体的にどのようなサービスを提供することが本人の自立支援に向けて必要かを考えられるようにする。	事前情報より、本人の生活を24時間にあてはめ、目的を持った本人のための生活ができるよう話し合いを行う。	6ヶ月
3	25	生活の状況を記録に残しているが、「残存能力の活用」を意識した記録としては不十分な部分がある。	ケアプランをもとに、本人の目標を理解し、記録する事で根拠あるサービスの提供ができるようになる。	職員全員がケアプランの内容を把握する。自身がやっているケアや、本人の様子について詳しく記録に残せるようになる。	6ヶ月
4	30	かかりつけ医、医療との連携についてご家族からの申し送りで、医師の指示と家族の意見が明確になっていないときがある。	医療側の指示、意見はしっかりと申し送りができるようになる。施設側と家族側の共通理解がしっかりとできる。	必要時は職員も受診に同行する。不明な点においては、その場で必ず確認し、確認できたことは記録に残し、全スタッフに周知できるようにする。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。